

カメラリポート



泥んこ球戯大会

童心にかえって、思い切り泥んこ遊びを楽しんでもらおうと五月十二日、奈路の水田で、泥んこ球戯大会が開かれました。

AS奈路倶楽部の主催で、ことしが二回目。サッカーとバレーボールの二種目に十チーム五十人ほどが参加。全身泥まみれになりながらも、刀いっばいの好プレーに山里は終日、大きな歓声に包まれていました。また、泥んこカーリングなどのゲームも行われました。

瓶岩体育館落成

北部山間地域の活性化や市民の健康づくりの中核施設として、市が昨年七月から建築工事を進めていた瓶岩体育館が、このほど完成し五月十九日、落成の記念式典が行われました。

体育館は、木の温もりと親しみが感じられるよう、県内産の木材をふんだんに使い、工法も県内では珍しい「重ね梁持ち送り型式」を採用。建築延べ床面積は六百八十六平方メートルで、バレーボールは一面、バドミントンなら二面取れるアリーナのほか、事務室やミーティング室があります。

瓶岩地区にふさわしいりっぱな体育館の完成です。



よかったか南国へ

ようこそ！

ゴールデンウィーク後半の五月三日から五日までの三日間、南国インター入口「道の駅南国」で、ウエルカム・サービスが行われました。

県外からの来客に感謝するとともに、有意義で楽しい旅になるようにと、鳴子踊りとフラフでお出迎え。ことしは、主催の南国市明るい社会づくり推進協議会に加え、高知農業・園芸・青和高等学校の高校生ボランティアグループの参加もあり、およそ二千二百人にひとときの休息とお茶やおしほりなどのサービスを行いました。



生のジャズを堪能

南国市に文化ホールの建設を願って、活動を続けているグループ「ぐるっぺどんどん」が五月八日、世界的なクラリネット奏者の北村英治さんらを招いて、ジャズコンサートを開きました。

ブーゲンビリアなど熱帯植物が咲き乱れ、夜香花がかかる西島園芸団地の「熱帯楽園」トロピカル・ナーセリー（ハウス）で開かれたコンサートには、県外からも訪れるなど、熱心なジャズファン約二百七十人が詰めかけました。日ごろ聴くことの少ないクラリネットの素晴らしい音色に集まった聴衆から大きな拍手が沸き起こっていました。



▲市役所北の駐車場五月十九日、「第四回ウエルカムなんこくフリーマーケット」が開かれました。

この日は、市内外から五十ほどが店を広げ、開場の午前十時には家族連れなど、大勢の買い物客が繰り出し、ずり並んだ商品の品定めめに走り、和やかなやり取りが行われていました。

▼島井映緒里（左右山）さんの女流棋士誕生を記念した南国市将棋大会が五月十九日、保健福祉センターで開催されました。市が主催したもので、今回が初めて。

この日は、市内外から約百人が参加。A級、B級の二クラスに分かれてのトーナメント戦。島井・森岡プロによる指導対局のほか、将棋界の裏話などの講演が対談形式で行われました。



▶5月6日、国際ソロプチミスト南国は、西島園芸団地でチャリティーバザールを開きました。

大型連休後半のこの日は、さわやかな青空に恵まれ、家族連れらが続々と訪れ大にぎわい。土佐打ち刃物や手作り寿司などが安価で売られ、なかなかの盛況ぶり。収益金は高知工科大設立基金に寄付されました。



▲5月19日、大窪公民館において、「民生児童委員協議会・母子福祉福祉連合会・母子相談員協議会合同研修会」が開催されました。

今回は、歌と語りによる心に届く人権啓発を目指し、「私の歌から何かを学ぶのではなく、皆さんそれぞれが何かを感じてほしい」という島村一夫さんのオープニングの語りで、「やさしくなろうコンサート」が開演。

参加した約60人の誰もが島村さんの心からのメッセージを熱く感じていました。



▲五月五日の子どもの日、千寿会はお年寄りらの親睦を深めようと、稲吉公民館で「高齢者端午の節句」を開きました。

アトラクションの踊りや食事のサービスに参加者は大喜び。楽しい一日を過ごしました。

▼5月12日、火鎮祭わんぱく相撲大会が市民体育館相撲場で開かれ、県内の小学生24チーム、130人ほどが参加。土俵上での力士たちの熱い戦いに、応援に駆けつけた人は盛んに声援を送っていました。



▲第十六回南国市民大学が、大窪公民館などを会場に、五月九日から五回コースで開かれました。

「生ゴミ」のリサイクル、痴呆防止、人権などの講演のほか、ことしは浄化施設の見学も取り入れ、参加した人は熱心に学習していました。



▲4月23日、国府小学校児童（70人）が学校東側の水田で、田植えの体験学習を行いました。泥水の冷たい感触を味わいながら、約30畝の水田にコシヒカリの苗を次々と手で植えていきました。児童らはふだんできない体験に大喜び。楽しいひとときを過ごしました。



▲第十六回南国市民大学が、大窪公民館などを会場に、五月九日から五回コースで開かれました。

「生ゴミ」のリサイクル、痴呆防止、人権などの講演のほか、ことしは浄化施設の見学も取り入れ、参加した人は熱心に学習していました。

